

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	令和元年度第1回中津川市博物館等協議会
開催日時	令和元年8月28日（水）15時～16時30分
開催場所	中津川市鉦物博物館 研修室
出席者の役職名	委員8名 教育長、文化スポーツ部長、鉦物博物館長（東山魁夷心の旅路館長兼務）、中山道歴史資料館長、苗木遠山史料館長、子ども科学館長、鉦物博物館館長補佐 鉦物博物館館長補佐兼学芸員、文化振興課学芸員2名
話し合われた内容 （会議録又は審議概要）	<p>1 協議会委員任命・委嘱 委員の任命書及び委嘱書の交付</p> <p>2 教育長あいさつ ・会議の成立について 【司会】 中津川市教育委員会附属機関設置等に関する条例施行規則第4条により、過半数以上の委員の出席によりこの会議は成立していることを報告いたします。</p> <p>・協議会の公開について 【会長】 本協議会は公開を前提としています。今後は公開ということでしょうか。 【委員】 異議なし 【会長】 それでは公開ということでしょうか、よろしくお願いいたします。</p> <p>3 報告・協議事項等 （1）平成30年度各館事業・決算報告 各館長より説明 【質疑】 会長 ありがとうございました。ただ今の説明にありました平成30年度各館の事業・決算報告についてご意見、ご質問等ありませんでしょうか。</p> <p>委員① 事業目的 中長期目標の各館の目標利用者数で、利用者数を増やした館と減らしている館があります。この辺りはどういう意味合いがあるのか伺います。</p>

事務局 これについては各館の実績に基づき、本来の数字に合わせながら進めていくということで、通常上げている館も下げている館もあるので、今後ともできるだけ上げていきたいと考えています。

委員① 数字だけじゃないと思いますが、あくまでも目標ですから、どうするかという工夫というところで、私たちも参加しているので、相談しながら盛り上げていける方法ができるのではないかと思います。

あと、イベントでは、各館同じ日に無料デーがあったりするので、人数が減るのではなく、連携してほかの館へ寄ってみるような工夫ができると思います。また後で述べさせてもらいます。

会長 次へ進めさせていただき、少しでも時間をとって皆さんのご意見を頂ければと思いますので、続きまして、令和元年度文化スポーツ部の方針と重点、各館の事業計画の説明をお願いします。

(2) 令和元年度文スポーツ部の方針と重点及び各館の事業計画について
部長及び各館長より説明

会長 ありがとうございます。

ただいまの説明にありました、令和元年度文化スポーツ部の方針と重点並びに各館の事業計画についての意見、並びに先ほどの事業報告の中での委員さんのご意見についてご質問をいただければと思います。

委員① スポンサー制度でまだ事業が理解を得てないので、スポンサーがつかどうか分かりませんが、今年富山の図書館に行ったときに「かんむりょう」というのがあって、孫と一緒にいくと無料になる制度がありました。また、明知鉄道で孫と一緒にふれあい列車があります。去年、山の日の県のイベントで、東美濃ふれあいセンターにおいて登山家の今井道子さんが基調講演されたときに、今、体験的なことは、親はなかなか忙しくて子どもを連れていけないので、「いまこそ、じいちゃん・ばあちゃんが」と言っていました。私も孫が4人います。

現役では博物館が昼間やっても来られないのは当たり前ですし、土・日は地域のリピーターの方がいらっしゃるので、平日のターゲットは年配者に限るとか、そこを増やしてもらうことで利用者の数値を上げることも大事なかなと思います。富山近隣の8市4町村では、地域のおじいちゃんおばあちゃんについては無料なので、その人たちが、他地域に行ったときに申請書を書けば、孫、ひ孫でも無料になるという面白い企画だと感じました。

私も鉾物博物館の友の会、苗木地域のまち協の役員でいろんなところを見てきた中で、土岐市の「広報とき」の中で、陶史の森の会が毎月あり、竜神

の森も岩登りなどがあっていろいろ工夫していると感じました。

中津川も頑張っていると感じたので、若い世代からのアイデアが言える場があるといいと思います。11月3日の無料デーには友の会、まち協も一緒になって整備をしています。

ネイチャーゲームの体験の研修をしたときに、中津川はいいところだと外部の方から言ってもらえると励みになり頑張れます。

会長 ありがとうございます。他にありませんでしょうか。

委員② 坂本中学校です。進学指導要領が2021年に変わるので、それに伴い1年から3年生まで全員が、災害について学芸員を呼んで講演していただきました。

市の中学校や小学校では教科研が行われていて、社会や国語の関係は古文書の遠山史料館のほうへ研修に行くとか、理科でしたら、若手の先生の中で、中津川にある施設を回るとか、技術家庭科であるなら苗木の料理の所へ行くとか、体育科でしたらスポーツの事業とタイアップしてやるとか、考えて行く必要があります。

さしあたっては、5月の頭に市の教育研究会で、理科の時は鉱物博物館を紹介させていただいています。また、社会の先生は遠山史料館とかご存じでないこともありますのでそんな時に資料を配布するとか、教員がまず知るといのが大事です。

会長 ありがとうございます。続いて校長先生宜しくお願いします。

委員③ 付知北小学校からきました。昨年この席に座っているいろいろな意見を聞かせていただき、少し思ったことをお話しします。12ページ以降に博物館が市の重点方針に従って活動しているということがよく分かりました。入場者数という問題があるかもしれませんが、基本的にベースとなっているところを、どの館も一生懸命されているのだということを知ることができて良かったです。

その中で情報発信について、1点目は英語のパンフレットの話で、この夏休みに名古屋へ行ってほんとに外国人の方が多く、中津川駅前でも大きな荷物を持った外国人の方をたくさん見かけ、人気のスポットであると感じました。その中で以前聞いたことで、外国人は日本人よりも展示物の説明を一生懸命読むのです。日本人はさらっとしか読みませんが、外国人はしっかり読んで、理解をしようとするということを知ることがあり、こういうパンフレットは効果的なものだなと聞かせてもらいました。

2点目は、私は西濃の出身で、こっちに来るまでは、中津川は「栗きんとん」しか思わなかった。これほどたくさんの博物館があることを一切知らな

かったです。他市に発信する時に中津川にはこんなにたくさん学ぶ場所があるのだと、共同のポスターで「栗きんとん」と一緒にしたらどうかと思います。無料の日が春と秋に2回あるなら、秋に2回やって「栗きんとん」と無料の博物館をセットで、他地域の人がこっちにきたくなるような、いくつもの博物館が見えることが出来るように聞かせてもらいました。

最後に小学校、中学校の校長ですが31校あって半分くらいは、東濃以外の先生が多いですが、こういう出前講座を一生懸命やってもらっていることをあんまり知らない。例年通りのことは申し込むのですが、こういうこともやっているのでも申し込んでみようという校長の働きかけが薄いのかなと思います。出前講座につきましては私にも責任があると思います。いろいろお聞かせいただき校長会等でPRしていきます。以上です。

会長 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委員④ 委員を長いことやっていますが、最近は老人会の役と神社の氏子総代をやっています。田舎に引っ込んでいますとニュースが伝わってきません。今日もそれぞれの館は少ない予算の中で工夫をして頑張っていることがよく伝わってきます。高山から何人かが古文書の教室に通って地元の老人会に資料を作るなど努力をしており感心しています。理科に関することで、高山だと鉱物の採取で有名な所ですが、意外と地元が知らないのでチャンスなのですが、ソーラーパネルを作る関係で表土を剥がすところが多くあります。

また、この前農道を通って瀬戸から落合に行ったとき、リニアの工事で大規模に山を剥がしていました。ひょっとすると調査をするチャンスかなと思うので何か良い企画ができないかなということがひとつです。

地元の学校へ行って出前講座があまり出来なかったのでも、地学関係で出来ないかと考えていて、間もなく福岡の小学校が合併をするので、地域の特性が消えるということで、校長先生方も心配しています。自分の地域のことを知っていて合併してほしい、大きなものに巻かれて流れていくということで、今まで遠足で遠くへ行っていただけでも、地元を回って行く動きも考えているみたいで、その中に鉱物採取なども含めて何か出来るといいなと思います。出前講座を私の方からも話してみようかと思っています。

会長 今たいへん大事なご意見をいただいております。

委員⑤ 文化協会です。各館がいろいろな取り組みをされまして、以前から思うと、計画をされて市民の方と一緒にやっていくことが資料から分りました。

さっき人数がという話ですが、人はたくさん来てくれた方がいいですが、いろいろな行事が重なって来ることができないとか、多々ありますが、その

なかで努力されていることがよく分かりました。いろんな面で中山道歴史資料館館長とも話して和宮とか中山道の歴史については集中していますが、江戸時代の真ん中辺はどうだったのかということは欠落していると思います。そういった中で、中津川の江戸から明治、大正、昭和ときたのですが、中津川市は岐阜県下で5番目の工業生産都市で、なぜ、そういう風になれたかということなど、近代史もそろそろ取り込んでやっていかないと資料を出してくれる方にも限界がありますし。出さない方もあるので、私のところにも近代史の資料がありましたが、資料の提供を頼みに来られた方が失礼で、お断りをした経緯もあります。いま取り組みをされている先生方は一生懸命に行われて市民の方にも徐々に、理解されています。中津川市はこういう努力の積み重ねで結果が良くなってきていると思います。

先ほどの委員が言われた、おじさん・おばあさんが孫を連れてやってくることはとても良いことだと思います。企画展で考えていただけるとよいと思います。

会長 ありがとうございます。

委員⑥ 青年会議所です。要望になってしまうかもしれませんが、決算・事業報告のところでもう少し予算のところが分かるようにしていただけると意見しやすいです。

維持管理が80%ぐらいで切実な問題になっている。事業目的の書き方は、中山道歴史資料館であれば、多くの市民がいて、その下に事業概要があって、その後に工夫目標や効果がある方がわかりやすい。誰が見てもわかりやすいものを作っていくと良いと思います。

リアが来るということで、私も青年会議所も見据えて行動していますので、協力できるところは声をかけていただければと思います。実際に歴史文化について、今以上に前向きさを市民に与えて、より多くの人を巻き込んでいくという重要な課題になっていく、もしお手伝いできる点があれば教えてください。以上です。

会長 大事な点を指摘いただきました。

委員⑦ 市PTA連合会です。毎年役員が替わって1年ごとの参加です。

子ども科学館の雨漏りがとてもたいへんだと伺いました。子どもに大事な施設だから早急に対応は出来ないものかと思います。

事務局 科学館については、今年コーティングを試験的に行い、効果があれば予算化をしていく考えです。また、どのような工法が良いか洗い出していきます。防水塗装もひとつの案として考えております。

会長 過去3年間この問題が出され、一刻も早くということで検討をしていただいております。

委員⑧ 14ページの5番、スポンサー制度と支援について、具体的にどんな形なのか、事例にはどんなものがあるのか聴きたいです。

事務局 スポンサー制度につきましては、3月から募集をかけて年間の月曜から金曜に相当する分を平日無料デーにしていきたいと考えて、スポンサーを募っていますが、なかなか来てくれるところがなく、どうやってPRをしていくか考えてやり直していきます。

委員⑧ そういう事からすると、CSR：「企業が果たすべき社会的責任」というのが企業では浸透していると思います。またCSV：「共通価値の創造」というのは共存することなので、企業にメリットのあるやり方がいちばん有効です。やり方としては出前講座の形で企業と一緒にやれるとよいです。お金を出すというやり方は企業もやりにくいと思います。検討いただくとありがたいです。

事務局 おっしゃるとおりでして、いま苦戦しているのは、予算の方は表に出ず、看板程度でPR活動になるようなことで、利益にはならない制度です。

委員⑧ 企業としては、お金が儲かるより、社会的貢献をしている方が重要です。

会長 発言された委員さんの意見は非常に重要なこと、スポンサーになってくださる企業も、メリットがなければ言いにくいことになる。進め方に工夫をしてこの事業だったら、全企業がスポンサーになっていただけたらと思えるような努力が要るのではないのでしょうか。

委員⑨ スポンサー制度の関係ですが、ボランティアで関わる私たちも同じだと思います。

何のために汗をかきに行くのか、私は孫とか次世代のために子育てにお世話になってやってきたので、いま返そうとしてやるわけですが、ボランティアも目的があって、一緒にやるとか、ここに来ることで新たな発見になるとか、それをプラスであることにより、ボランティアの考え方も、さっきの企業と同じだと思いますので、いいアイデアでやってみればよいと思いました。

会長 企業の考え方ももちろんですが、市民の方々それぞれが館に関わって、ボランティア、出前講座、と形になって充実感を持っていけるような、人生としての委員の意見でした。

たいへん良い意見をいただき存在意義が質の高い意見として討議になって、ちょっとでも早めでも終わってもらえるよう意見をいただきます。

委員⑧ 各ボランティア、何人くらい受け入れをしているのかお訊きしたい。

事務局 分かっている数を、各館順番に申し上げます。

(中山道歴史資料館)

正式には12名、中山道盛り上げ隊とか、いろいろな人が入ったり出たりしています。

道案内に関しては、15ページ7番ボランティア英語講座があり、盛り上げ隊、英語のできるALT、中津高校、商業高校だとか、延べ50名ぐらいがいます。

(子ども科学館)

土曜教室、無料デーを手伝ってくれる人、5、6人の人に来てもらっています。

(苗木遠山史料館)

ボランティアガイドという組織があって40名弱ぐらいで、常に動ける人は半数ぐらいです。

(鉱物博物館)

サポーター21名で友の会が40名程度です。

(東山魁夷心の旅路館)

愛する会で13名です。

会長 ありがとうございます

委員⑧ けっこう多いなという実感です。中津商業高校とかは毎年司会をやっていたが、中学校も300人ぐらいと、やりがいを持っている人が多いので、参加するきっかけが分かるようにして、学校と連携していくと、ボランティアも増えるし地域の見える化として連携するとよいので、検討してほしいです。

	<p>事務局 鉦物博物館では、ミュージアムフェスタで中京学院大学から7人ボランティアがきました。日本人だけでなく海外の人も来ました。今後も何らかの取り組みにしていきたいと考えています。</p> <p>会長 5館の存在と方向性を見つけたところ、非常に大事な意見と、はじめの委員の意見もそこに尽きると思います。</p> <p>16時30分これで終了します。</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度各館事業・決算報告 ・令和元年度文化スポーツ部の方針と重点及び各館の事業計画
<p>管部課</p>	<p>中津川市鉦物博物館</p>